

琉球大学学術リポジトリ

復帰準備（対内）（政府調査団派遣等）－防衛庁－ （4）

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-01-29 キーワード (Ja): 復帰準備, 防衛庁, 自衛官, 沖縄現地研修, 野呂防衛政務次官 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43394

46年 9/21~

9/25
野呂防衛政務次官
他の訪仲

公文号「米北ファイル」

秘密表示(朱印)

あて先別

至急

件数指示	発信用	執務用	備考
主信	2	1	3
付			
国	そのまま		

発送日 昭和46年9月10日
 処理日
 発着地 タイプ 校

文書課長 (分類) 公 信

公 信 米北 / 第 1484 公 信 昭和 46 年 9 月 10 日 日 付 昭和 46 年 9 月 9 日 起案 昭和 46 年 9 月 9 日

大 臣	主 管	起 案 者	電 話 番 号
政 務 次 官	アメリカ局長	古田	2498
事 務 次 官	参事官		
外務審議官	北米才一課長		
外務審議官			
官 房 長			

協 議 先

受 信 者 在米 牛場大使 発 信 者 佐藤 外務大臣 臨時代理

写 送 付 先 在仲經 高瀬大使(仲經) (希望宛送日) 9月9日

件 名 航空自衛隊機の仲經乗入水許可(訓令)

GA-2

10 外務省

回覧番号

米北 第 1484号

昭和46年9月10日

在 米 大 使 殿

外 務 大 臣

(件名) 航空自衛隊機の仲經乗入水許可(訓令)

引用公・電信 日付・番号

今般防衛庁より、野呂防衛政務次官等一行7名が、仲經現地視察のため、9月21日から25日までの間仲經と訪問する予定の趣のとら、同政務次官等と空輸するため航空自衛隊輸送機

※ 付属添付 付属空便(行) 付属空便(DP) 付属船便(貨) 付属船便(郵)

GA-2-1

外務省

(※印は文書課記入)

(YS-11型機)の仲經兼込水の米側
 許可取付方依頼越し左ので、変細は
 別添公信字トより了知の上右許
 可取付キありなく、結果回電あり左り。

本字送付先
 仲經委

秘密表示(朱印)

部数指示	発信用	快務用	備考
主信	/	/	2
付			
属	そのま	付属	添付

発送日 昭和46年9月13日
 処理日
 発信、

文書課長 (印) 公 信 案 (分類)

公信番号 米比 第 220 号 公信日付 昭和46年9月11日

大 臣 主 管 起案 昭和46年9月9日

政務次官

事務次官 アメリカ局長

外務審議官 参事官

外務審議官 北米才一課長

官房長 起案者 古田 電話番号 2480

協議先 官房総務参事官 官房書記官 安全保障課長

受信者 在仲經高瀬大使 発信者 佐藤外務大臣 臨時代理

写送付先 (希望発送日)

件名 便宜供与(野呂防衛政務次官等の訪仲)

GA-2 外務 11 60 回覧番号 2418

米比 第 220 号
昭和 46 年 9 月 1 日

沖縄復帰準備委員会
日本国政府代表 殿

外務大臣

(件名)
便宜供与 (野呂防衛政務次官等の訪沖)

引用公・電信
日付・番号

便宜 (BB)

1. (氏名) 野呂防衛政務次官他 6 名

別添参照

2. (旅行目的) 現地視察

3. (旅行日程) 9月21日より25日まで4泊5日

※ 付属添付 付属空便 (行) 付属空便 (DP) 付属船便 (貨) 付属船便 (郵)

(※印は文書課記入)

復元航空自衛隊 (YS-11型)

機差使用

4. (便宜供与内容)

(1) 宿舎 防衛庁において次の宿舎を留保

務の趣なるを念のためコンファーム

しおきたい。

野呂政務次官 琉球 ^{東急} ホテル

大西審議官他5名 黒潮会館

(2) 面会 別添出張日程案の如く9月22日

屋良立席、星立法院議長、ランポート
(在京米大使館協力を依頼)

高等弁務官への表敬を希望し

お返しにき然るべくアポイントメント

の上結果回電
取付けおきたい。

(3) 視察 米軍軍事施設としてホワイト・ビ-

ン地区、那覇ホイル地区、那覇
外務省

エアー・ベース等

(別添日程表(案)参照)

なお、視察に際しては貴代表

事務所より自衛官1名の同行を

希望している。

(4) その他 視察に際しての自動車手配。

5. (参考事項)

航空自衛隊機の貴地乗入^{許可取付}に

ついでには、在米大使館宛別添公

信をもちて訓令情。



防衛省 参事官 北米一課長

アメリカ局長 北米一課長

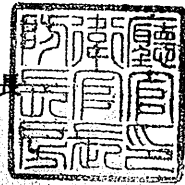
参事官 北米一課長

北米一課長

官総第 2403号

46. 9. 9

外務省アメリカ局長 殿



防衛庁長官官房長

野呂防衛政務次官の沖縄出張に伴う便宜供与について(依頼)

防衛政務次官野呂恭一は下記の者を随行し、沖縄現地視察のため昭和46年9月21日から同年9月25日までの間航空自衛隊機(Y8-11型)で、別紙第1の日程により沖縄に出張することになりました。

つきましては、一行の出張期間中における便宜供与、特に日程に基づく行動予定の細部調整及び全期間を通じて沖縄復帰準備委員会日本国政府代表事務所職員(自衛官)の同行と自動車及び宿舍の手配並びに別紙第2の沖縄渡航計画に基づく航空自衛隊機の沖縄乗入れ手続についてよろしくお取り計らい願います。

なお、同沖縄渡航計画については、在日米軍司令部と調整済であります。

記



防衛庁長官官房審議官	防衛庁書記官	大西 誠一郎
同 長官官房広報課長	同	中名生 正己
同 長官官房総務課	防衛庁部員	堀川 宏
防衛施設庁総務部長	防衛庁事務官	長坂 強
同 総務部会計課長補佐	同	山田 英一
野呂衆議院議員私設秘書		中林 民三

添付書類：別紙第1「出張日程表」

別紙第2「沖縄渡航計画」

別紙第3「経歴書」

駐日防衛政務次官沖繩出張日程表(案)

46.9.8

月 日	発 着	交通機関	行 動 予 定	備 考
9. 21 (火)	0900 入間発	空自YS-11型機	1600 高瀬大使訪問 (大使及び加藤事務局長と懇談) 1800 関係者と懇談(レセプション)	通関手続 (板付)
	1200 板付着			
	1300 板付発 1530 那覇着			
9. 22 (水)			✓ 屋良主席表敬 ✓ 星立法院議長表敬 ✓ ランパート高等弁務官表敬	
9. 23 (木)			米軍事施設視察 戦跡めぐり 護国神社参拝	
9. 24 (金)			予 備	秋分の日
9. 25 (土)	1000 那覇発	空自YS-11型機		通関手続 (板付)
	1230 板付着			
	1330 板付発 1610 入間着			

沖 繩 渡 航 計 画

1 目 的

防衛政務次官沖縄出張ならび沖縄における広報活動の一環としての空輸支援

2 航空機

- (1) 機 数 : 1 機
- (2) 型 式 : YS-11 型機
- (3) 機 番 : JF82-1155 (コールサイン: ジャパンフォース 1155)
予備機 JF82-1156 (" " " 1156)

3 乗組員

付紙に示す。

4 飛行日程

付紙に示す。

5 給 油

- (1) 燃 料 : JP-4
- (2) 量 : 1600 ガロン (那覇基地において給油)
(注: 22日 800 ガロン、25日 800 ガロン)
- (3) 決済方式: 対米決済

防衛施設庁告示 75

野呂政務次官の沖縄
日程とそれに現地への
報告(古田)

アメリカ局長

参事官
北米第一課長

施本第2719号(OGP)
昭和46年9月13日

外務省
アメリカ局長殿

防衛施設庁長官



職員の沖縄出張について(通知)
標記について、下記のとおり沖縄へ出張させる
こととしたので通知する。

記

- 1 出張者：
 - 防衛施設庁総務部長
 - 防衛庁事務官 指定職乙
長坂 強
 - 防衛施設庁総務部会計課課長補佐
 - 防衛庁事務官 行政職(一)2等級
山田 英一
- 2 出張目的：
 - 防衛政務次官の沖縄出張に随行のため

3 出張期間：昭和46年9月21日から
昭和46年9月25日まで

以上

添付書類：/ 経 歴 表
2 日 程 表

本信あて先：沖縄・北方対策庁長官
外務省アメリカ局長

七
四
三
二
一

送付
首席事務官
総務
沖縄
渉外調査
漁業
航空
科学協力
連絡調整
調査
力加
局庶務



B4

46.2.25.-30.000

CGG

総務課経山番号 34

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

大政事外外儀官

務務典房
次次
臣官官審審長長
儀総人電厚計
書文会管給

調査長
領移長

参企析調
参領旅査移

ア 参地中東
長 北東西
参北北保
中南審
欧 参西東洋
長 西東

近ア長経
参書近ア
次総経国資
源
長 参貿統
参政技一理
国企二
参参協規
長 参政経科
国 参道内外
長 参道内外
文長

総番号(TA) 47914 主管
71年9月17日15時45分 米国 発
71年9月18日07時20分 本省 着 米北1

外務大臣殿 牛場(大) 臨時代理大使 総領事 代理

航空自衛隊機のオキナワ乗入の許可

オミ920号 平

貴省米北1オミ484号に於て

航空自衛隊機のオキナワ乗入は、17日

容軍省より許可された。

オキナワに転送した。

(3)

御参考

当初予定 21日～25日正台風の

ため 23日～27日に変更(今朝発表)

野呂政務次官沖縄出張変更日程

アメリカ局長
参事官

取扱注意

46.9.22(火)

10.

在沖縄福沢/海佐から次官の沖縄出張に伴う日程変更
について次のとおり連絡がありました。

月日	発着	交通機関	行動予定	備考
9.23(水)	0900 入向発	空自YS-11		
	1200 板付着			
	1300 〃発			
	1530 那覇着		1530 那覇空軍基地到着	
			1600 高瀬大使訪問	
			1630 記者会見	
			1700 屋良主席表敬訪問	
			1920 果連訪問	
			1900 2030 次官主催Vレポジョン	琉球新報社
			0740 ホテル発	
9.24(金)			0811-0845 那覇空軍基地視察	
(秋分の日)			0850-0915 海軍航空	
			0920-0950 ホテルエリア	
			1015-1045 フェアリー民政官訪問	
			1045-1200 昼食	
			1200-1300 昼食(ホワイトビーチ)	
			1300-1330 ホワイトビーチ視察	
			1330-1500 和歌山	
			1510-1520 護国神社参拝	
			1520-1650 戦跡めぐり	
			1700-1830 地主連合会代表と懇談	
			1800-2100 高瀬大使主催デナー	全上
			0750 ホテル発	
			0730-0800 移動	
9.25(土)			0800-0845 米側による全般状況説明 (ランバート高等空軍府)	
			0845-0930 移動	
			0930-0955 屋良立法院長訪問	全上

10. 2

月日	発着	交通機関	行動予定	備考
			1000-1030 沖縄タイムズ社訪問	
			1100-1130 琉球新報社訪問	
				副公使主催 夕会 (記者のみ)
			1710 ホテル発	
9.26(日)			1930 自民党組織青年部及公同婦人部 との合同懇談会(回場ビル)	
				全上
			0920 ホテル発	
9.27(月)	1000 那覇発	空自YS-11		
	1230 板付着			
	1330 〃発			
	1610 入向			

アメリカ局長
46.9.23
北村課
1.50(古田会)

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

大政事外外儀官
務務 典房
次次
臣官官審審長長
備備人電厚計
議文会営給

調査長
参企析調
領移長
参領旅査移

ア 参地中東
長 北東西
米 参北北保
中南
費 参一二
吹 参西東洋
長 西東

近ア
長 参書近ア
経 次総経国資
長 参貿統国
経 参政技一理
協 国企二
長 参条協規
国 参政経科
長 参道内外
文 一二

総番号(TA) 48036 主管
71年9月18日14時40分 沖繩 発 米北1
71年9月18日14時45分 本省 着

外務大臣殿 高瀬 大使 臨時代理大使 総領事 代理

便宜供与 (防衛政務次官等の訪沖)

オ1010号 平

貴信米北1オ220号に因り

1) 次官の表敬訪問日時及び表敬先は次の通り。

22日(水) 1000-1025 ホル立法院議長
1100-1120 尾良主席
1400-1430

2) 伊予 - 民政官 (ランバート高等弁務官不在)

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

大政事外外儀官
務務 典房
次次
臣官官審審長長
備備人電厚計
議文会営給

調査長
参企析調
領移長
参領旅査移

ア 参地中東
長 北東西
米 参北北保
中南
費 参一二
吹 参西東洋
長 西東

近ア
長 参書近ア
経 次総経国資
長 参貿統国
経 参政技一理
協 国企二
長 参条協規
国 参政経科
長 参道内外
文 一二

総番号(TA) 49127 主管
71年9月23日14時 沖繩 発 米北1
71年9月23日14時 本省 着

外務大臣殿 高瀬 大使 臨時代理大使 総領事 代理

防衛政務次官来ちゆう。

第1020号 平

往電第1010号に関し

防衛政務次官一行は、23日午後4時当地着、本使と会談後当事務所において記者会見したところその概要次の通り

- 1. (カツコ内質問)
来ちゆうの目的は、(1) 基地問題に関し地主との話し合い、(2) 自衛隊のおきなわ配備に関し、けん民との話し合いをするためである。
- 2. (軍用地の強制使用の立法について)
未だ取扱いについて決定していない。地主と十分話し合つて継続使用するようにしたい。立法は十分に地主と話し合いをする時間をもうけるのが真のねらいである。
- 3. 自衛隊配備と基地問題が解決しない場合、返かん協定の批准が困難になるおそれがあるので個人的に心配している。
(そのような兆候があるのか)
兆候があるわけではないが、そのような事態にならない

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

ように全力を傾注して御理解を得るようにしたい。特にこれは防衛庁がちゅう実に職務を果して行く心構えを申し上げたものである。

4. (協定のA及びB表から削除または追加されるものはないか)

(1) 基地返かんについては復帰後も米軍と話し合う必要があるが今の時点では削除はない。

(2) 追加されるものはあり得ない。

5. (A表の一時使用の基地についても特別立法するのかわ)

(1) 七つあるがそのうち四つについては既に市ちまう村との話し合いが出来ており、他についてもまとまりつつあると聞いている。

(2) 話し合いが成立しない場合は理論的には特別立法のわくに入ると思う。

(丁)

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

総番号(TA) 49412
 71年 9月 24日 21時33分 沖縄 発信
 71年 9月 24日 21時44分 本省 着

外務大臣殿 高瀬(大使) 臨時代理大使 総領事 代理

防衛政務次官来ちゅう(ヤラ主席表けい訪問)

第1021号 略 至急

往電第1020号に関し

1. ノロ政務次官は、24日午後2時50分ヤラ主席を公しやに訪問し、約1時間20分にわたって会談を行なった。(ナガサカ部長、大西審議官、タニグチ次長、フクザワ一さ同席)

2. 主席より、要請書(空送する)を手交し、これに基づいて下記の諸点に関するりゆう政の要望をちん情した。これに対し、次官より、自衛隊のおきなわ配備に当っては、おきなわけん民の意向を十分くんで誠心誠意努力する所存であり、防衛庁に対するりゆう政及びけん民の一層の御理解をいただきたい旨を述べた。

3. 上記要請書の概要次の通り。

(1) 復帰後、米軍の存在に加えて自衛隊が配備されることはおきなわ基地の強化とも受けとられ、また米軍基地のかた代りに自衛隊が配備されれば自衛隊の質的転換をもたらすと解される。かかる理由で自衛隊のおきなわ配備には反対の立場を表明せざるを得ないのでしん重に検討

大政事外外儀官
 務務 典房
 次次
 臣官官審審長長
 儀総人電厚計
 書文会管給

調査長 参企折調
 領移長 参領旅査移

ア 参地中東
 長 北東西
 米 参北北保
 中 参一
 南 参西東洋
 審 西東
 欧 三

近 参書近ア
 ア 次総経国資
 長 源

長 参質統
 経 参政技一理
 協 国
 長 参条協規
 長 参政経科
 国 軍社專
 長 参道内外
 文 一
 長 二

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

されたい。

(2) 解放軍用地の地主に対し、次の救済措置を講じてもらいたい。

(イ) 解放時から復元補償がなされるまでの間、年間地料相当額を支払う。

(ロ) 当該土地の境界設定費を支給する。

(3) 軍用地の使用権の取得は強制取用の手段によることなく、地主の意思をそん重しけん民の立場をも配慮の上しん重に対処してもらいたい。(政務次官はこれに対し、使用権の取得はあくまでも話し合いでゆくことに徹することが基本であり、立法は暫定的に話し合いの時間を持つことにねらいがある旨を強調した。)

(4) 返かん協定により放棄された補償要求につき、行政措置のみに委ねることなく、それが確実に行なわれうるよう立法措置も配慮されたい。

4. 第4種労務者の問題については、政府部内の何処で担当するかは現在未定であるが、3公社等にはきゆうすることはないか等の諸点について、政務次官より質問し、これに対し、主席は同様心配すべき面のあることを答え、事務当局に調査検討せしめた上、上京させる旨を答えた。

(丁)